

(仮称)刈谷スマートインターチェンジ地区協議会
設立趣意書

刈谷市は愛知県のほぼ中央、西三河平野の西側に位置し、衣浦港に接するとともに、伊勢湾岸自動車道や国道1号・23号など交通アクセスに優れています。また、本市中心部から豊田市中心部には、自動車関連産業の工場が並び、「ものづくりの中心地」として日本経済の発展をリードしております。

一方、交通の要衝である当該地域においては、伊勢湾岸自動車道や周辺の幹線道路に交通が集中することで渋滞が発生し、生産性向上を求められている産業界にとって大きな問題となっております。

集積する自動車関連産業の中心に位置する刈谷パーキングエリアにスマートインターチェンジを整備することにより、輸送時間の短縮や渋滞の緩和など物流交通の円滑化や更なる自動車関連産業の集積等によるストック効果の拡大が図られます。

また、刈谷パーキングエリアと一体となった刈谷ハイウェイオアシスは、年間1,000万人に及ぶ日本有数の集客力を誇り、スマートインターチェンジの整備による更なる集客の増加とともに、周辺観光施設への波及効果も期待できます。

このため、国土交通省、愛知県、愛知県警察、中日本高速道路株式会社、刈谷市、豊田市、豊明市及び道路利用者等関係機関が連携して、スマートインターチェンジの設置に向け、必要な検討・調整を行い、供用後も継続して、その社会便益・安全性・利用交通量・管理・運営形態等について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直すことを目的として、「(仮称)刈谷スマートインターチェンジ地区協議会」を設立するものです。

平成29年6月26日

刈谷市長 竹中 良則